

# 津なぎさまち開港10周年記念イベント

津なぎさまち開港10周年を記念して、さまざまなイベントが開催されました。

2月13日～25日

## 津なぎさまち絵画コンクール 作品展示



津なぎさまちをテーマにしたみんなの力作がズラリ！

優秀者の授賞式も行われました！



3月21日

## 高速船に乗ろう & 1日船長



高速船に乗船するみんなでハイ、ポーズ！

1日船長に任命されました！



2月15日

## 津なぎさまち開港10周年記念フォーラム

津なぎさまちに関してさまざまな立場から活発な議論が繰り広げられました。その中から、国土交通省中部運輸局長の野俣光孝さん・津エアポートライン(株)代表取締役の小嶋光信さん・津市長の3人で行われたトークセッション「海上アクセスのこれまでとこれから」の中で挙げた質問の一部を紹介します。



トークセッションの様子

### 津なぎさまちの管理運営費用は いくらかかっているの？

**津市長** 津なぎさまちの管理運営には年間で約5,500万円の費用がかかっています。これを、年間の高速船利用者数で割ると一人当たり約200円で、この200円分を津市が負担しているということになります。

### 高速船の利用者をもっと増やすための 提案はありますか？

**野俣運輸局長** 津なぎさまちは三重県内の利用者が多くなっています。近年は日本への外国人旅行客も増えてきていることから、他の公共交通機関等と連携して、外国人旅行客などをいかに取り込むか努力が必要です。

### 高速船の昼間の運航時間帯を 1時間に1本にできないの？

**小嶋代表取締役** 需要に合わせた航路を設定しており、航路を増やすと約4,000万円の経費がかかるため、これからも利用しやすいように、経営の範囲内でしっかりと現在のこの航路を守っていきたくと思っています。



ゆるキャラの見送り

### これからの津なぎさまちはどのように 発展していきたいと思っていますか？

**津市長** 津なぎさまち開港10周年記念フォーラムを開催して、もっと魅力のある津なぎさまちに、魅力のある航路にしていくための、さまざまなヒントを得られました。これからも常に頭を柔らかくし、いろいろなことを考えながら、この大切な場所、航路を守っていきたく思います。